



製造業での労働災害

特に、転倒、はさまれ・巻き込まれ、
動作の反動・無理な動作（主に腰痛）
災害を防止しましょう！

製造業の労働災害が増加
しています。

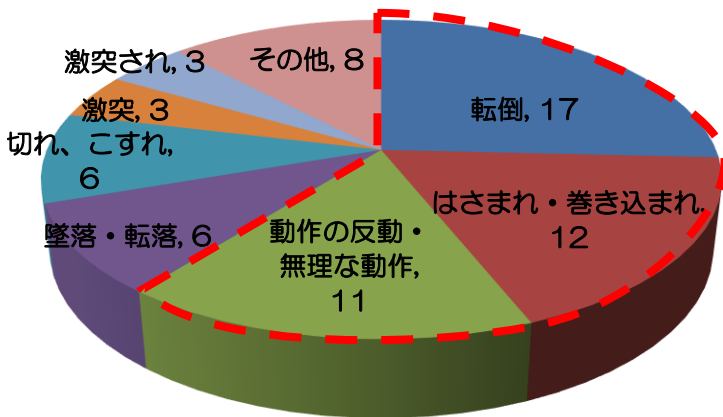
栃木県内の製造業における労働災害発生状況【令和6年11月末現在】

- 死亡者数 3人
- 死傷者数（休業4日以上死傷者数）
488人 対前年同期比16人（3.2%）の減少

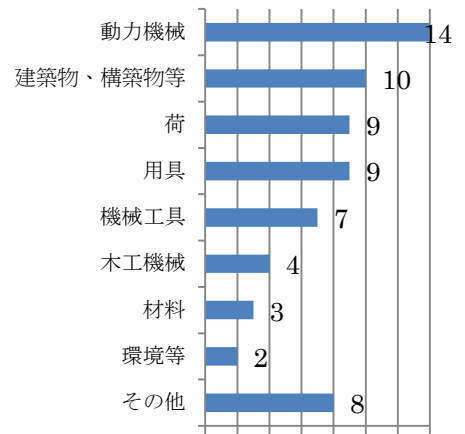
大田原労働基準監督署管内の労働災害発生状況（製造業）【令和6年11月末現在】

- 死亡者数 0人
- 死傷者数 66人 対前年同期比13人（24.5%）の増加

事故の型別・死傷者数



起因物別・死傷者数

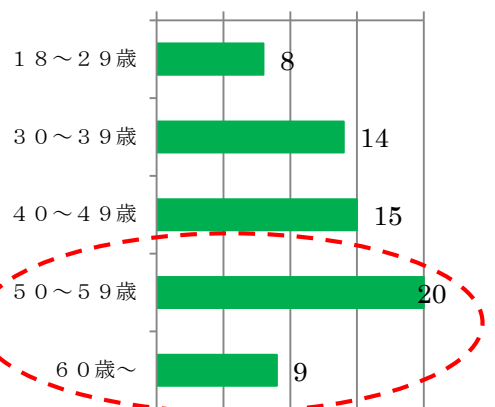


令和6年11月末日までの、大田原労働基準監督署管内の製造業で発生した休業4日以上死傷災害66件を事故の型別で見ますと、転倒（25.8%）、はさまれ・巻き込まれ（18.2%）、動作の反動・無理な動作（16.7%）となっています。

したがってこの3つの型別の災害で、全労働災害の60.7%を占めている状況にあります。

また、年齢別でみると50歳以上の労働者が43.9%と半数近くを占めている状況であり、高年齢労働者への労働災害防止対策の徹底も重要です。

年齢別・死傷者数





その作業、安全対策は十分ですか？

☑ 転倒災害の防止

図の出典：厚生労働省
職場のあんぜんサイト



- 床面の油など液体は放置せず、その都度除去しましょう。
- 多量の水を扱う職場は、床面や履物を滑りにくい材質の物にしましょう。



- 通路には転倒のおそれのある物は置かないようにしましょう。
- 仮置きする場合も、不意な接触による転倒を防止する措置を講じましょう。

☑ はさまれ・巻き込まれ災害の防止



- 危険な箇所に手を近づける必要のない作業方法としましょう。
- 巻き込まれた場合、直ちに機械を停止できる構造（非常停止装置等）を備えましょう。



- 機械の掃除等を行う時は、機械の運転停止を徹底しましょう。
- 内容物の飛来や不意の物の混入を防ぐため、蓋をする等の措置を講じましょう。

☑ 動作の反動・無理な動作災害の防止



- 重量物の取り扱い作業については、機械による自動化や台車・昇降装置などの使用による省力化を図りましょう。



- 不自然な姿勢での作業とならないよう、作業機器や作業台は、作業者の体格を考慮して配置しましょう。

- 一般に加齢とともに身体機能が低下し、転倒しやすくなります → 「ロコチェック」
- 現役の方でも、たった一度の転倒で寝たきりになることも → 「たった一度の転倒で寝たきりになることも。転倒事故の起こりやすい箇所は？」（内閣府ウェブサイト）
- 特に女性は加齢とともに骨折のリスクも著しく増大します
→ 対象者は市町村が実施している「骨粗鬆症健診」を受診しましょう



ロコチェック



内閣府
ウェブサイト

☑ 災害防止対策資料をチェック



体 操 の 監 修

南雲 光則 先生

- ・栃木県理学療法士会 会長
- ・自治医科大学附属病院
リハビリテーションセンター 室長
- ・独立行政法人 労働者健康安全機構
栃木産業保健総合支援センター
産業保健相談員

こころばNiceとちぎ^{ないうす}
転倒予防体操は
動画でもご覧いただけます。

右の二次元バーコードよりご視聴ください。

視聴しながら一緒に
体操を行います。
ぜひご覧ください▼



作業場所の
整理整頓



毎日の運動



転倒予防・腰痛予防の取組



リスクアセスメントの実施支援システム



従業員の幸せのための安全アクション
SAFEコンソーシアムポータルサイト



化学物質による労働災害防止のための
新たな規制について



労働者と同じ場所で危険有害な作業を行う
個人事業者等の保護措置が義務付けされます



外国人労働者の安全衛生対策について



エイジフレンドリーガイドライン (高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン)

ガイドラインの概要

このガイドラインは、高齢者を現に使用している事業場やこれから使用する予定の事業場で、事業者と労働者に求められる取組を具体的に示したものです。全文はこちら→

令和2年3月16日付け基安発0316第1号
「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドラインの策定について」



考慮事項

- ・職場改善ツール「エイジアクション100」のチェックリストの活用も有効です→
- ・必要に応じフレイルやロコモティブシンドロームについても考慮します
※フレイル：加齢とともに、筋力や認知機能等の心身の活力が低下し、生活機能障害や要介護状態等の危険性が高くなった状態
※ロコモティブシンドローム：年齢とともに骨や関節、筋内等運動器の衰えが原因で「立つ」、「歩く」といった機能（移動機能）が低下している状態
- ・社会福祉施設、飲食店等での家庭生活と同様の作業にもリスクが潜んでいます



体力チェックの一例 詳しい内容は→



転倒等リスク評価セルフチェック票

I 身体機能計測結果

① 2ステップテスト（歩行能力・筋力）
あなたの結果は cm / cm (身長) =
下の評価表に当てはめると → 評価

評価値	1	2	3	4	5
結果/身長	~1.24	1.25	1.39	1.47	1.66~

② 座位ステップテスト（敏捷性）
あなたの結果は 回 / 20秒
下の評価表に当てはめると → 評価

評価値	1	2	3	4	5
(回)	~24	25	29	44	48~

③ ファンクショナルリーチ（動的バランス）
あなたの結果は cm
下の評価表に当てはめると → 評価

評価値	1	2	3	4	5
(cm)	~19	20	30	36	40~

④ 閉眼片足立ち（静的バランス）
あなたの結果は 秒
下の評価表に当てはめると → 評価

評価値	1	2	3	4	5
(秒)	~7	7.1	17.1	55.1	90.1~

⑤ 閉眼片足立ち（静的バランス）
あなたの結果は 秒
下の評価表に当てはめると → 評価

評価値	1	2	3	4	5
(秒)	~15	15.1	30.1	84.1	120.1~

身体機能計測の評価数字をⅢのレーダーチャートに黒字で記入

II 質問票（身体的特性）

質問内容	あなたの回答NO.1	合計	評価	評価
1. 入浴中、作業中など人にかつぎやすい状態ですか				歩行能力
2. 肩や肘に比べて手に痛みを感じますか				敏捷性
3. 姿勢が崩れることによる体の痛みは頻りに感じますか				静的バランス
4. 歩行中、小さな石や段差でつまづいたり倒れたりすることがありますか				動的バランス
5. 歩行中に足裏に痛みを感じることがありますか				静的バランス
6. 一歩前に進むつもりで歩くと、急に足が滑って倒れたりすることがありますか				動的バランス
7. 階段で歩くと足が滑り倒れることがありますか				静的バランス
8. 階段で降り、つまずいたり足が滑り倒れることがありますか				動的バランス
9. 階段で降り、つまずいたり足が滑り倒れることがありますか				静的バランス
10. 階段で降り、つまずいたり足が滑り倒れることがありますか				動的バランス

合計点数 評価表

2~3	1
4~7	2
8~9	3
10	4

III レーダーチャート

評価結果を黒字で記入し、Iの質問票（身体的特性）は赤字で記入



好事例を参考にしましょう

取り組み事例を参考にして、自らの事業場の課題と対策を検討してください。

厚生労働省ホームページ

(先進企業) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000156041.html>

(製造業) <https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/1003-2.html>

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構ホームページ

<http://www.jeed.go.jp/elderly/data/statistics.html>

先進企業



大田原労働基準監督署

R6.12作成